

防災一口メモ

津波から命を守るために

私たちが暮らしている沖縄地方では、1771年（明和8年）に「明和の大津波」と呼ばれる八重山地震津波が発生しました。

八重山地震津波は、日本被害地震総覧によれば、震害は無かったようですが、津波の被害は石垣島で最大で同島の面積の約40%が波に洗われました。宮古・八重山共に津波は異常退潮ではじまり、大波は3回来襲しました。また、津波による犠牲者は約1万2千名でした。

こういった過去の歴史から、沖縄でも大きな地震が発生することを認識しておきましょう。

○海辺や海岸付近で強い揺れやゆっくりとした揺れを感じたときは、津波警報などの発表を待たずにすぐ避難しましょう。

○地震の揺れを感じていなくても津波警報が発表されたら、ただちに安全な場所に避難しましょう。



避難した先では情報に注意し、津波警報が解除されるまで避難行動を続けましょう。また、到達してる津波が小さいからもう安全だと判断するのは危険です。津波は何度も繰り返し来襲し、第一波よりもその後やってくる波の方が高くなる場合があります。津波から命を守るために、これらのことを覚えておきましょう。